

高等学校 令和5年度（1学年用）教科

国語

科目 現代の国語

教科： 国語

科目： 現代の国語

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～

教科担当者： (A組：五十嵐里実)

使用教科書： ( 高等学校 新編現代の国語(第一学習社) )

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値の認識を深めるとともに言語感覚を磨き、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

| 【知識及び技能】                     | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】   |
|------------------------------|---|--|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることができる。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。 | 言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。 |

|          | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 領域  |   |   | 評価規準  | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|----------|---|--|-----|---|---|---|---|---|---|------------------|
|          |   |  | 話・聞 | 書 | 読 |   |   |   |   |                  |
| 4月<br>5月 | ①話し方の工夫<br>【知識及び技能】<br>話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って話し合うことができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>場の状況に応じて言葉遣いを選び、学習課題に沿って使うことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表しようとしている。   | 【指導事項】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解させる。<br>・表現の正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解させる。<br>・自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。<br>・話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫させる。<br>【一人1台端末の活用】<br>動画でスピーチを視聴し、話し方のテクニックを学ぶ。             | ○   |   |   | 【知識及び技能】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。(1イ)<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)<br>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(A(1)ウ)<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って説明や発表をしようとしている。       | ○ | ○ | ○ | 3                |
|          | ②ナマケモノになる（辻信一）<br>【知識及び技能】<br>・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深めることができる。<br>・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈することができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・ナマケモノの生態から考える競争社会での生き方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述しようとしている。 | 【指導事項】<br>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解させる。<br>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解させる。<br>・推論の仕方について理解を深めさせる。<br>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。<br>・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めさせる。                         |     | ○ |   | 【知識及び技能】<br>・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。(2ア)<br>・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。(2イ)<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。(C(1)ア)<br>・「読むこと」において、文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。(〔C(1)イ)<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・本文に記載された事柄について積極的に調べ、理解を深めようとしている。       | ○ | ○ | ○ | 6                |
| 5月       | 定期考査  |  |     |   |   | ○   | ○ |   | 1 |                  |
| 6月       | ③待遇表現<br>【知識及び技能】<br>・敬語表現を意識した言葉遣いを理解することができる。<br>・敬語表現が選択される視点を理解することができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・相手や場に応じた表現が選択できる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・相手や場に応じた表現を選択しようとしている。  | 【指導事項】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使うようにさせる。<br>・自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫させる。<br>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫させる。<br>【一人1台端末の活用】<br>動画でスピーチを視聴し、話し方のテクニックを学ぶ。 | ○   |   |   | 【知識及び技能】<br>・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。(1イ)<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。(A(1)イ)<br>・「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。(A(1)ウ)<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>・積極的に敬語表現を理解し、学習課題に沿って使おうとしている。 | ○ | ○ | ○ | 3                |







高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科： 国語 科目： 言語文化 単位数： 2 単位  
 対象学年組：第 2 学年 A 組～  
 教科担当者： (A組：五十嵐里実)  
 使用教科書： ( 新編言語文化(東京書籍) )

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。  
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値の認識を深めるとともに言語感覚を磨き、その能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通し、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

| 【知識及び技能】  | 【思考力、判断力、表現力等】  | 【学びに向かう力、人間性等】  |
|---|---|---|
| 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。 | 論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりできるようにする。 | 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

|          | 単元の具体的な指導目標   | 指導項目・内容  | 領域  |   |   | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配<br>当<br>時<br>数 |
|----------|---|--|-----|---|---|------|---|---|---|------------------|
|          |   |  | 話・聞 | 書 | 読 |      |   |   |   |                  |
| 4月<br>5月 | ①随筆「さくらさくらさくら」<br>「花」といえば「桜」？<br>「美しい」ということ 等<br>【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。<br>【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで本文の内容について理解を深め、筆者の考えを整理しようとしている。 | 【指導事項】<br>・引用歌や体験談に注意しながら、日本独特の桜に対する感性について理解を深めさせる。<br>・現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持たせる。<br>・筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考えさせる。 |     |   | ○ |      |   |   |   | 6                |
|          | ②古文1 「古文に親しむ」「児のそら寝」「用光と白波」「絵仏師良秀」等<br>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ、内容や構成、展開について叙述を基に捉える。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで音読して古典の世界に親しみ、   | 【指導事項】<br>・本文を音読し、古典の五十音と歴史的仮名遣いに慣れさせる。<br>・登場人物の心情や作者の意図を理解させる。<br>・現代語訳する際の注意点を理解させる。<br>・古典と現代語との差を味わうと同時に、普遍的なものを見つける。       |     |   | ○ |      |   |   |   | 6                |
| 5月       | 定期考査  |  |     |   |   |      | ○ | ○ |   | 1                |
| 6月<br>7月 | ③小説1 「とんかつ」、「雨漏りの音」<br>【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで本文の内容について理解を深  | 【指導事項】<br>・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。<br>・登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考える。  |     |   | ○ |      |   |   |   | 8                |
|          | ④古文2 「徒然草」「枕草子」<br>【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。<br>【主体的に学習に取り組む態度】 進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取る。                          | 【指導事項】<br>・本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れさせる。<br>・登場人物の心情や作者の意図を理解させる。<br>・現代語訳する際の注意点を理解させる。   |     |   | ○ |      |   |   |   | 5                |

|                |   |  |  |  |  |   |  |  |   |   |   |   |   |
|----------------|---|--|--|--|--|---|--|--|---|---|---|---|---|
| 7月             | 定期考査  |  |  |  |  |   |  |  | ○ | ○ |   | 1 |   |
| 9月<br>10月      | ⑤小説2「羅生門」「元になった古典作品と読み比べよう」等<br>【知識及び技能】<br>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、話し合い等を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとする。  | 【指導事項】<br>・登場人物の境遇との心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、何を描こうとした作品であるのかを考える。<br>・元となった作品と比べ読みをすることで、筆者が物語で何を描きたかったのかを考える。   |  |  |  | ○ | 【知識及び技能】<br>言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。<br>○ 【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、話し合い等を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。  |  |   | ○ | ○ | ○ | 9 |
| 10月            | 定期考査  |  |  |  |  |   |  |  | ○ | ○ |   | 1 |   |
| 11月<br>12月     | ⑥漢文1、2「訓読の基本」「故事成語一三編」「漢詩」<br>【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つ。   | ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。<br>・故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。<br>・漢詩とそれを踏まえた古文を読み、漢文が日本文学に与えた影響について知る。   |  |  |  | ○ | 【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>○ 【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つ。  |  |   | ○ | ○ | ○ | 5 |
|                | ⑦古文3「折々のうた」、「短歌を作る」等<br>【知識及び技能】<br>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで本文の内容について理解  | 【指導事項】<br>・詩歌に表れたものの見方、感じ方、考え方を読み取る。<br>・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを、古典的技法に倣って短歌にし、効果的に書く。   |  |  |  | ○ | 【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。   |  |   | ○ | ○ | ○ | 9 |
| 12月            | 定期考査  |  |  |  |  |   |  |  | ○ | ○ |   | 1 |   |
| 1月<br>2月<br>3月 | ⑧小説3「夢十夜」「デューク」<br>【知識及び技能】<br>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで本文の内容について理解を深め、筆者の考えを整理しようとする。<br>古文4「伊勢物語」「平家物語」<br>【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取る。 | 【指導事項】<br>・表現に即して小説を丁寧に読み味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。<br>・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。<br>【指導事項】<br>・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。<br>・軍記物語特有の表現に注意しながら、登場人物の言動や心情を読み取る。 |  |  |  | ○ | 【知識及び技能】<br>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、話し合い等を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。<br>○ 【知識及び技能】<br>古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。<br>【思考力、判断力、表現力等】<br>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。<br>【主体的に学習に取り組む態度】<br>進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。 |  |   | ○ | ○ | ○ | 9 |
|                |   |  |  |  |  |   |  |  | ○ | ○ |   | 8 |   |

|    |      |  |  |  |  |   |   |  |    |
|----|------|--|--|--|--|---|---|--|----|
| 3月 | 定期考査 |  |  |  |  | ○ | ○ |  | 1  |
|    |      |  |  |  |  |   |   |  | 合計 |
|    |      |  |  |  |  |   |   |  | 70 |

## 令和5年度 年間授業計画

|        |                     |        |        |
|--------|---------------------|--------|--------|
| 教科・科目名 | 国語・現代文A             | 担 当 者  | 五十嵐 里実 |
| 使用教科書  | 改訂版 新編 現代文A (第一学習社) | 学年・クラス | 3年A組   |
| 単 位 数  | 2単位                 | 年間配当時間 | 70 時間  |

|   |                                       |
|---|---------------------------------------|
| 学習のねらい・到達評価等  | 評価項目と基準                               |
| 近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 | 出席状況、課題提出状況、授業態度、定期考査の結果を総合的に判断し評価する。 |

| No. | 予定時数 | 単元・指導目標・指導内容等   | 評価方法                         | 備考                  |
|-----|------|---|------------------------------|---------------------|
| 1   | 22時間 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・扱われている題材を自分に引きよせて読解し、自らの視野を広げる。</li> </ul> 小説「デューク」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・主人公の言動から、その心情を的確に読み取る。</li> </ul> 評論「数え方で磨く日本語」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の背景にある文化や思考について理解する。</li> </ul>   | 出席状況<br>課題提出<br>授業態度<br>定期考査 |                     |
| 2   | 28時間 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自国と他国の文化の違いについて理解する。</li> </ul> 小説「相棒」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルとストーリーとの関連性を意識する。</li> <li>・登場人物の言動から心情の変化を読み取る。</li> </ul> 評論「出島のチューリップ」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・随想的な評論を読み、筆者の伝えたいことを的確に読み取る。</li> <li>・作品の背景(社会的な事実等)を理解する。</li> </ul> | 出席状況<br>課題提出<br>授業態度<br>定期考査 | *学習内容は、変更する場合があります。 |
| 3   | 20時間 | 小説「鼻」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・古典と現代小説の関わりについて学び、人間の普遍的な感情について理解する。</li> </ul>   | 出席状況<br>課題提出<br>授業態度<br>定期考査 |                     |

|   |
|---|
| <p>担当者から(授業で努力してほしいこと・守ってほしいこと等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は休まず出席しましょう。</li> <li>・教科書やノートなど授業に必要な道具は、授業が始まる前に用意してください。</li> <li>・課題には積極的に取り組み、提出を求められた場合は必ず提出しましょう。</li> <li>・国語の授業では「考える」「表現する」ことが求められます。</li> </ul> |
|---|

## 令和5年度 年間授業計画

|        |                 |        |        |
|--------|-----------------|--------|--------|
| 教科・科目名 | 国語・国語表現         | 担 当 者  | 五十嵐 里実 |
| 使用教科書  | 国語表現 改訂版（大修館書店） | 学年・クラス | 4年A組   |
| 単 位 数  | 2単位             | 年間配当時間 | 70 時間  |

|  |  |
|--|--|
| 学習のねらい・到達評価等   | 評価項目と基準                                      |
| <p>国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。</p> <p>思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、自己の考えを文章等で表現することによって社会生活の充実を図る態度を育てる。</p> | <p>出席状況、課題提出状況、授業態度、定期考査の結果を総合的に判断し評価する。</p> |

|         | 予定時数 | 単元・指導目標・指導内容等   | 評価方法                                | 備考                  |
|---------|------|---|-------------------------------------|---------------------|
| 1<br>学期 | 22時間 | <p>言いつづめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・整った文を書く</li> <li>・わかりやすい文を書く</li> </ul> <p>※相手に伝わる文章について学ぶ。</p> <p>自己PRと面接</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分を見つめる</li> <li>・効果的な自己PRを書く</li> <li>・志望動機をまとめる</li> </ul> <p>※進学・就職を見据えて自己PRができるようになる</p> | <p>出席状況</p> <p>課題提出</p> <p>授業態度</p> | *学習内容は、変更する場合があります。 |
| 2<br>学期 | 28時間 | <p>小論文・レポート入門</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文入門</li> <li>・反論を想定して書く</li> <li>・資料を読み取って書く</li> </ul> <p>※自分の意見を論理的に表現する。</p> <p>メディアを駆使する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信文をかき分ける</li> </ul> <p>※手紙の書き方の基本的な作法について学ぶ。</p>                    | <p>出席状況</p> <p>課題提出</p> <p>授業態度</p> |                     |
| 3<br>学期 | 20時間 | <p>表現を楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉遊び</li> <li>・創作</li> </ul> <p>※日本語の特徴を理解し創作活動を行う。</p>   | <p>出席状況</p> <p>課題提出</p> <p>授業態度</p> |                     |

|  |
|--|
| <p>担当者から（授業で努力してほしいこと・守ってほしいこと等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は休まず出席しましょう。</li> <li>・国語表現は、言葉や文章で「表現する」授業です。課題には積極的に取り組み、提出を求められた場合は必ず提出しましょう。</li> </ul> |
|--|



令和5年度 年間授業計画

|        |                  |        |      |
|--------|------------------|--------|------|
| 教科・科目名 | 国語・現代文A          | 担当者    | 五十嵐  |
| 使用教科書  | 改訂版新編現代文A（第一学習社） | 学年・クラス | 4年選択 |
| 単位数    | 2単位              | 年間配当時間 | 70時間 |

|  |  |
|--|--|
| 学習のねらい・到達評価等   | 評価項目と基準                                  |
| 近代以降の様々な文章を読むことにより、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。 | 出席状況、課題提出状況、授業での活動、小テスト等の結果を総合的に判断し評価する。 |

|         | 予定時数 | 単元・指導目標・指導内容等   | 評価方法                         | 備考                  |
|---------|------|---|------------------------------|---------------------|
| 1<br>学期 | 22時間 | 小説『山月記』（中島敦）<br>・山月記の文体の特徴を味わう<br>・主人公李徴の心の動き、自己分析の変化を読み取る<br>・中国文学（「人虎伝」）との比較により、『山月記』を味わう   | 出席状況<br>課題提出<br>授業態度<br>定期考査 | *学習内容は、変更する場合があります。 |
| 2<br>学期 | 28時間 | 小説『ころも』（夏目漱石）<br>・文豪夏目漱石について学ぶ<br>・作品のテーマを読み取る<br>・それぞれの登場人物の心情を読み取る<br>評論「経験の教えについて」<br>・論理的文章の方を知り、筆者の主張を正確に読みとる。<br>・筆者の主張を自分の体験に引き寄せて考える<br>・目休と抽象を行き来する訓練をする | 出席状況<br>課題提出<br>授業態度<br>定期考査 |                     |
| 3<br>学期 | 20時間 | 新聞記事の読み比べ<br>・新聞に親しむ態度を養う<br>・比較を通して書き手の意図などを理解する<br>・資料を適切にまとめる力をつける   | 出席状況<br>課題提出<br>授業態度<br>定期考査 |                     |

|  |
|--|
| 担当者から（授業で努力してほしいこと・守ってほしいこと等）  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業は休まず出席しましょう。</li> <li>・教科書やノートなど授業に必要な道具は、授業が始まる前に用意してください。</li> <li>・課題には積極的に取り組み、提出を求められた場合は必ず提出しましょう。</li> <li>・現代文Aの授業では「考えたことを表現する」ことに主眼をおいた授業を行います。</li> </ul> |